

## 質 問 状

平成22年4月23日

京都市環境政策局 適正処理施設部

施設管理課   ご担当 岡田様

TEL:075-212-9820

FAX:075-212-9826

議会ウォッチャー・仙台

代表世話人 泉田 元子

同 上原 仁

(事務局)

仙台市青葉区中央 4-3-28 朝市ビル3F

宮城地域自治研究所

TEL022-227-9900 FAX022-227-3267

突然のFAXにて失礼致します。

私達「議会ウォッチャー・仙台」は仙台市議会の議員の活動を採点し、通信簿をつける（公表を含む）ことを目標として平成20年4月8日に活動を開始した市民団体です。

今般、活動の一環として仙台市の外郭団体の委託費の決定過程を調査することとなり、「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類選別業務委託」を取り上げました。その作業を進める中で、仙台市との比較をするために、他の政令指定都市の決定過程についても同様に調査をしたいと考えております。

お忙しいところ大変恐縮ではありますが、御市の状況について以下の質問につきご回答下さいますようお願い申し上げます。なお、FAX もしくは郵便にてご回答

いただければ幸いです。

## 記

1. 缶・びん・ペットボトル等の選別作業の委託契約は随意契約、一般競争入札、指名競争入札のいずれであるのか。
2. 随意契約であれば、缶・びん・ペットボトル等の選別作業を外郭団体に委託するにあたり、契約前に外郭団体から内訳のついた委託料の見積書を提出してもらっているか、否か。提出されていればその時期は何月頃なのか。
3. 契約締結前に外郭団体との間で金額の交渉を行っているか、否か。行っていれば交渉時期は何月頃なのか。
4. 発注側と受注側の協議の過程が記録として残っているのか。